

## あしよろ・ハードサポート通信

長かった夏が終わり、例年なら牛の調子も良くなってくる時期ですが、最近訪問先では乳房炎が続いたり分娩後の調子が悪かったりなど、牛群の状態が今一つなお話しを聞くことがあります。今後の繁殖成績に悪影響が出ないか心配なところです。

### ◆ あらためて、PAG検査

乳牛は妊娠すると胎盤で妊娠関連糖タンパク (PAG) を産生します。乳汁に含まれている PAG レベルを測定することで、妊娠しているかどうかを検査することができます。授精後 28 日以降の乳汁で PAG 検査は可能なため、通常の妊娠鑑定を行うよりも早いタイミングで不受胎の牛を摘発できるメリットがあります。

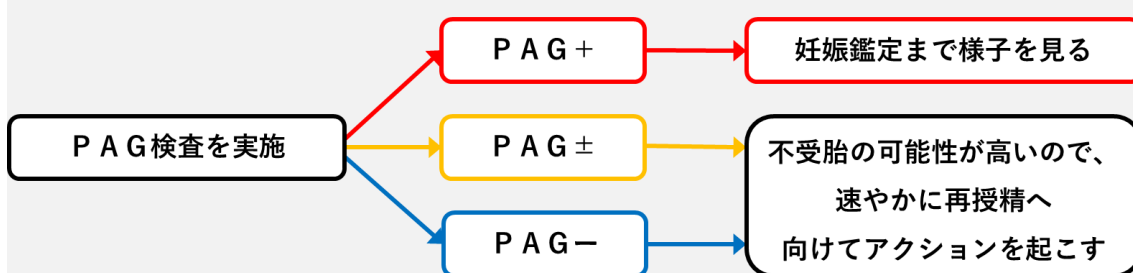
足寄町では全国に先駆けて 2016 年から PAG 検査を積極的に行ってきました。当時は東京の IDEXX 社へ郵送して検査を行っていましたが、現在では十勝農協連さんでの検査が可能になり、以前と比べると検査結果が出るまでが速く、検査コストも下がっています。



### ◆ 不受胎の牛へは速やかに再授精を

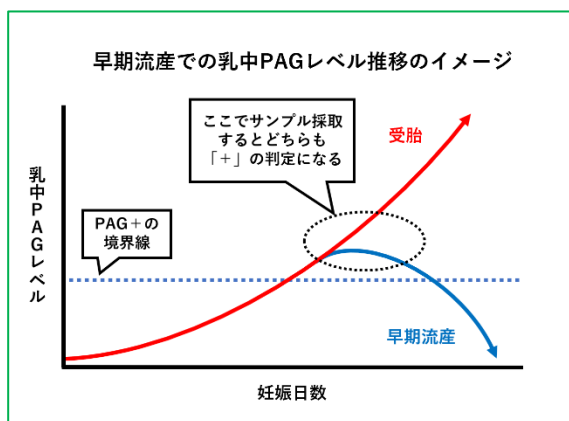
前述のように PAG 検査を行うことにより早期の妊娠検査ができます。ここで大切なことは、いかに速く「マイナスの牛」へ再授精できるかということです。検査結果が「+」の場合は通常の妊娠鑑定まで様子を見ていきますが、検査結果が「-」の場合はその牛が不受胎である可能性が非常に高いため、速やかに再授精へ向けてアクションを起こすべきです。また足寄町での過去の検査結果からは、「±」の場合も不受胎である可能性が高いことから、「-」の場合と同じように再授精へ向けて動いていきましょう。

### PAG検査フローチャート



### ◆ PAG検査は「妊娠鑑定」ではない

PAG 検査では通常の妊娠鑑定よりも早期に乳牛の妊娠状況を確認できますが、検査結果が「+」の場合でもその後きちんと妊娠鑑定を行う必要があります。PAG 検査はあくまでも乳汁の PAG レベルをチェックしているだけであり、実際に子宮内の胎児を確認しているわけではありません。また仮に早期流産した場合、乳中 PAG レベルは急降下せず



緩やかに低下していくため、乳汁サンプル採取のタイミングによってはすでに「空胎」となっているにも関わらず「+」の判定が出ることがあります。足寄町での過去の検査結果からは、「+」の場合でも後にその牛が再授精された割合が約18%となっており、「+」判定でも5頭に1頭程度は不受胎になる可能性があります。

### ◆ 「-」の場合の注意点

PAG 検査で「-」の判定が出た場合、不受胎である可能性は非常に高いのですが、妊娠鑑定を行うとまれに受胎している場合があります。またサンプル取り違えが原因の場合もあります。前述のように「-」の判定が出た場合は速やかに再授精へ向けてアクションを起こすべきですが、PG などのホルモン剤を使用する時は獣医さんと相談して確実に受胎していないことを確認してから投与するようにしてください。

### ◆ 乳検サンプルでのPAG検査が可能に

今月から乳検サンプルによる PAG 検査ができるようになりました。検査料金は通常の PAG 検査と同じです。乳検での PAG 検査では検査日が指定されてしまうため授精後の不受胎牛を早期発見するには不向きかもしれませんが、サンプル採取の労力削減は大きなメリットです。乾乳前など、妊娠が継続されているかどうかを確認するために活用することはおすすめです。乳検に加入されている酪農家さんで、今まで PAG 検査を行ったことがない方は、この機会にチャレンジしてみてもいかがでしょうか。



※乳検サンプルでの PAG 検査を希望する場合は、検定当日に検査希望牛のリストを検定員さんへ必ずお渡ししてください。検定時の都合上、検査牛リスト提出後の修正や追加はできませんのでご注意ください。

通常のPAG検査用のサンプル採取日リストを作成するお手伝いも随時行っています。お気軽にお問い合わせください。  
(市川雷太)